

ブロック別ミーティング（四日市）

アドバイザー 田中由紀子氏

皆さんの意見を聞かせてもらって、さすがだなと思いました。

今、自分がクラブの運営にも関わっていることですが、まず昭和の感覚を捨ててください。捨てなくてもちょっと置いておいてください。今、全然感覚が違いますので、令和の子供たちを受け入れてください。考え方、価値観が全部違います。保護者もまだ戸惑っている部分があるかなと感じますので、まずそこを入れ込んでいただくと、違ったアイデアになってくるんです。多様性の時代になってきていて、子供たちもいろいろやりたいことがあり、それに忙しいんです。

あるチームの先生が、練習日を1日変えたら、「その日はもう予定があるからダメ」と子どもたちが言ってきます。それが令和です。

今回テーマが小学生高学年ですけど、でも中学生と小学生高学年は同じ感覚です。部活で日曜日に試合があるのに、「土曜日に予定があるので行ってきます」と言い、それを先生も普通に「行ってらっしゃい」と送り出します。そういう時代なんです。

私が部活でびっくりしたのは、遅刻して褒められていました。先生はすごいと思いました。先生が言ったタイミングがすごく上手だったんですけど、生徒が部活の終了間際に来て、理由聞いて「分かった、入りな」と言って練習に入って、帰りがけに「よく来たね、またちゃんとおいでよ」と言いました。そういう時代です。私も考え方を変えないと思ったので、皆さん紹介させていただきました。

そういう時代の中で、イベントを組んだり、子供たちを集めるということは、きちんとターゲットを絞ること、たくさん集めようとしなくていいこと。定員10名ぐらいでいいやぐらいの気持ちでやらないとイベントが失敗したと思ってしまいます。定員10人のところに15人も申し込みがあったら、成功した！それぐらいの感覚でやらないといけません。小学5、6年生になると、いろんなことを考えていて切り捨てることを知っています。

ただ同じ5、6年生といっても、地域ごとに全然違うと思いますので、自分たちの地域の子供たちを把握しイベントを組んでもらう。そしていいネーミングで呼んでもらう。

私が他の地区行ったからといって絶対に人が増えるとは思いません。楠の子どもだからこそです。でも楠でも私のネーミングでダメになってきたから、今は30歳後半の若い子に任せていますが、内容とネーミングを一生懸命考えながらチラシを作っているという状況であります。

また、小学生にスポーツをさせるというのがありますが、小学校5、6年生になるとボランティア活動ができます。任せられることはないのですが大人が見ていないとだめですが、大人の側でやってもらうとすごく喜んでやります。

講演で言われていた承認欲求というのは、そこからくると思います。自分を認めてもらって役に立っているというところも、子供たちの見つけてあげられるところなのかなと最近感じています。子供の居場所づくりをクラブの中の取り組みであるといいのかなと思います。

学校と家庭では言えないようなことを地域の大人には言ってくれます。小学5、6年生になるといろいろな葛藤と生きています。そういった部分もクラブが運営の中で取り上げていただけたらいいと思いますが、これをやっているとお儲かりません。

先ほど言われていた資金のことですが、収益のことを考えるようになると、逆に葛藤が生まれるなどというのが今感じているところです。でも、お金払ってねって言えるような自分になっていかないといけないなと思っています。

例として、テニス教室の体験会を夏休みに開催しましたが、定員オーバーになったので、その教室に5、6年通っている子供2人に手伝いに行ってくれる？と聞いたら、すごく喜んで行ってくれています。コーチと一緒に見本を見せていたので、こういう風に子供たちをクラブの中で動かしていかなくちゃいけないな、というのを勉強させていただきました。

地域の子供たちは、地域の皆さんが守るのではなく、一緒にクラブを守るところもあります。守るだけでなく力強い部分を持っているので、いろいろなものを引き出してもらって、大人になってクラブに帰ってきてくれたらいいなという思いもあります。会員を増やす一番は、幼稚園か低学年の時に会員にしてください。自然とずっと続きます。大きくなってからはなかなか難しいです。ちっちゃい子の教室やイベントは増やして、どんどんクラブのファンを増やしていきます。そうすると高学年になっても中学生になっても、そして今、中学校部活の連携で普通にお金を払わなくちゃいけないというところまで移行が進んでいるんですけど、やっぱり小さい時から年会費2,900円を払っていたらお母さんは抵抗なく会費を払います。20年やってきてよかったと思えるのはそこです。

中学までクラブに入っていなかった子たちの家庭はやっぱり入らないというデータが出てきました。だから今、できるだけ小さいときから保護者の皆さんに年会費を払ってもらって、クラブに参加をしてもらってファンを増やしていかないと難しいのかなというところもあるので、ぜひ皆さんもクラブの中で知恵を絞ってください。

地域の歴史的なのは絶対大事ですので、そこも残しながら新しい令和の子供たちを受け入れるというところも一緒に考えていってほしいと思います。